

中川モーターボートクルー探検隊

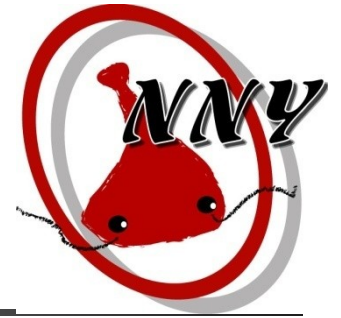
中川グループ
名倉、石川、鈴木





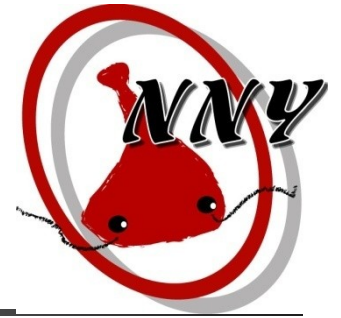
事業の背景

- 平成20年10月に越谷レイクタウンがオープンし、更に11月には三郷IKEA,平成21年秋には三郷ララポートがオープン予定であり、吉川市の商工業環境は大きな影響を受けることとなる。商工業全体の衰退によって吉川が元気のないまちの様相に変貌していくことが懸念される。
- この状況を何とかしなければならぬと誰しもが思うが、特効薬などはない。とにかく吉川を想う市民が吉川を元気にする一石を投じていくことからその波紋は広がり、波紋と波紋が干渉してさらに大きな波紋となり吉川を活性化していくことができると思う。
- そこで、その一石として吉川の財産である中川をもっとまちづくりに生かして行きたいと願い「中川を生かしたまちづくり事業」の一つとして企画するものである。



コンセプト(目指すもの)

- 埼玉県羽生市付近に源を発し、埼玉県東部を南に流下する中川は総延長83.7Kmで東京湾に注いでいます。その内、約8Kmが吉川市を流れ、江戸時代には吉川周辺は有数の水田地帯で取れた米を江戸に積み出すために中川を利用する舟運も発達し、吉川河岸、平沼河岸は物資の集積地として栄えていました。
- 中川は吉川にとってかけがえの無い財産です。中川を再び市民が賑わう場所としたい、そして中川の歴史・文化を学び地域のアイデンティティを取り戻したい。なんとかこの中川を生かしたまちづくりが出来ないものかその可能性を探ることを目的にまず第1弾として「中川モータボートクルー探検隊(仮称)」を企画するものである。



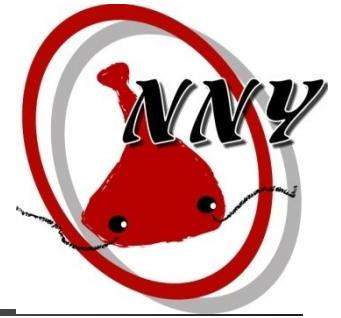
事業母体はNNY

- NPOネットよしかわ(NNY)は「協働でデザインした地域社会」の実現に向けて吉川の「まちづくり」、「ひとづくり」の活動を行う中間支援組織です。
- この組織には吉川を想う多くの市民のネットワークがあります。また、行政とも多くの協働の実績を積んできました。
- NNYにはこの事業を通じて「中川を生かしたまちづくり」に発展させていける素地は十分にあると言えます。



活動内容

- 毎年吉川市で開催されている最大のイベントでもある吉川市民まつりのイベントとして平成21年度にまず第1回の「中川モーターボートクルー探検隊」事業を実施する。
- この事業を通じて中川を再び市民が賑わう場所となる企画をして行く。中川の歴史・文化を学び地域のアイデンティティを取り戻す。
- 単なるイベント事業に止めずで、このイベントを通じて「中川を生かしたまちづくり協議会」の発足まで持って行きたい。

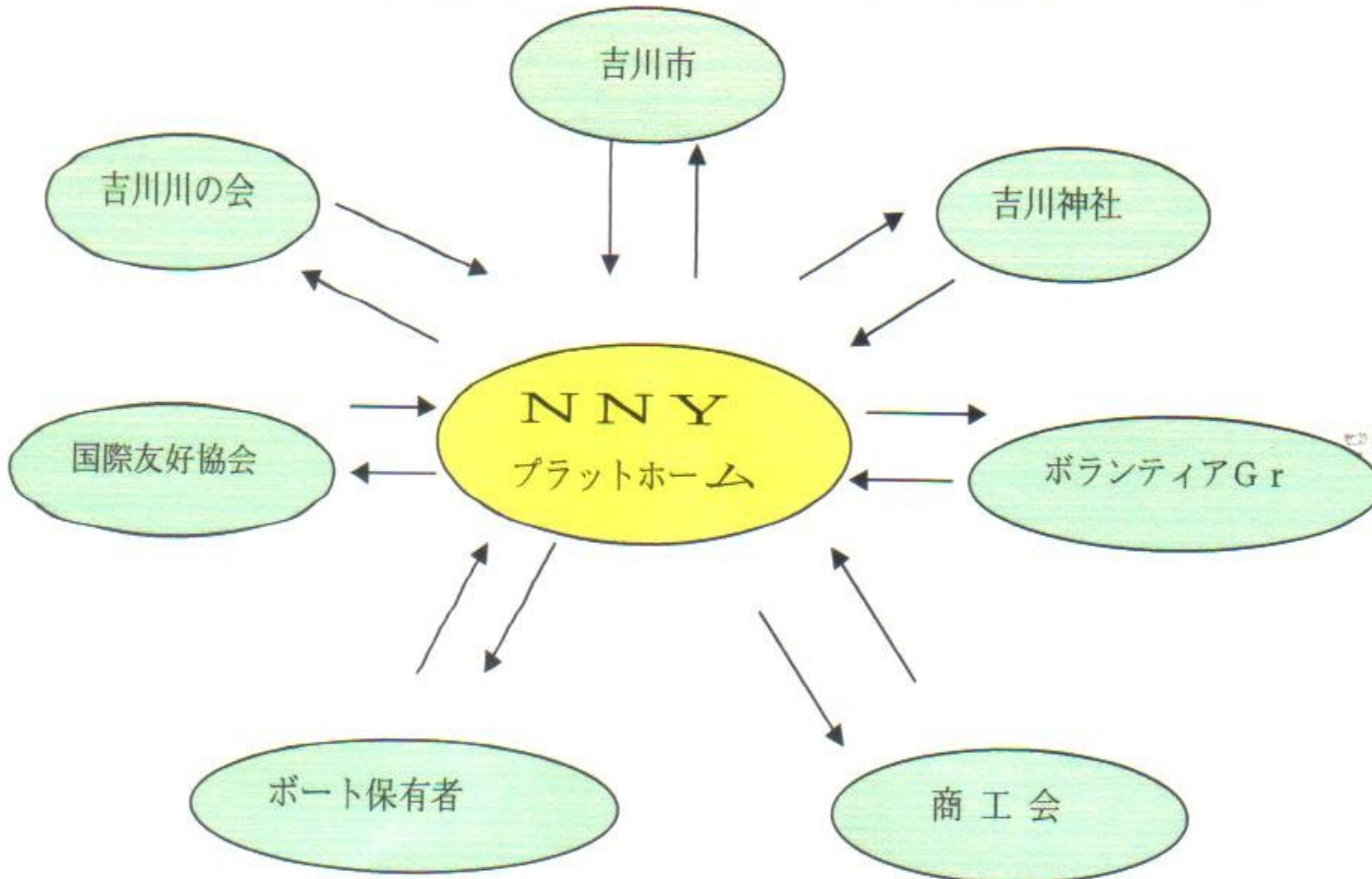


マーケティング結果

- 過去、吉川市には吉川川の会（現在休止中）があり活動していた。メンバーが「川を生かしたまちづくり」を目指して吉川駅近くの棧橋から乗船できる屋形船を運航し、船内で吉川名物の川魚料理を楽しんでいた。しかし、屋形船が座礁してしまいその後、吉川川の会の活動は休止してしまっただ。
- この実績を再び、NNYが新しい企画として復活させて、更にはその活動の輪を広げることによって「中川を生かしたまちづくり」の活動に繋げて行きたい。



ネットワーク図



連携可能な協力先と 役割分担



- 吉川川の会 → 屋形船事業のノウハウの提供と
事業への共同参加
- 吉川市 → 棧橋等使用手続き、市民祭り所管、ボランティア保険
- ボート所有者 → モーターボートの提供
- 商工会 → 本事業を通じてのビジネス企画と協働
- 国際友好協会 → 国際友好の場とする。
- 吉川神社 → 吉川の歴史・文化のご教示
- ボランティア団体 → 共同した周辺環境整備
- 一般市民 → 得意な分野での協力



中川モーターボートクルー探検隊

中川を生かしたまちづくり事業



中川は吉川の財産

中川の歴史・文化を学
び地域のアイデンティ
ティを取り戻したい

中川鉄橋から上流500mと下流2Kmは土手になって散歩コースとなっています